

放射線量調査 ご協力をお願い

－ 国立大学法人 弘前大学 －

研究代表者：床次 眞司（弘前大学被ばく医療総合研究所・教授）

調査の目的

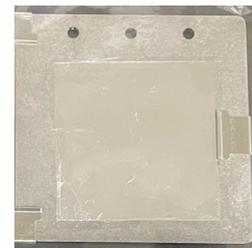
- 福島県の医療機関にお勤めの放射線技師の方々150名を対象として、環境中に含まれる自然放射線(ラドン)と原発事故から10年ほど経過した現在の人工放射線量(セシウム)を分析し、これらから受ける被ばく線量を詳しく調査します。
- 測定した放射線量のデータは、安心して生活を送るための基礎資料にします。

ご協力いただきたいこと

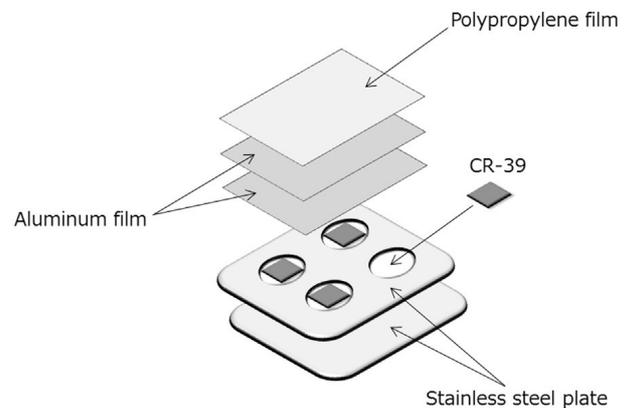
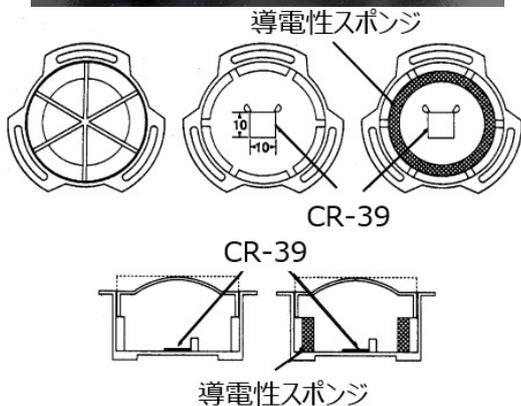
- ①ご自宅(寝室または居間)に小型ラドンモニタ(①、②)を設置させてください。
※3か月ごとにモニタを交換し、1年間測定をさせていただきます。(操作不要)
※電源は不要で、音や匂いを発することはありません。ご安心ください。
なお、家での滞在時間等を把握するため、簡単なアンケートにご協力ください。



小型ラドンモニタ①
(上：外観、下：構造)



小型ラドンモニタ②
(上：外観、下：構造)



- ②同居するご家族の方(1名)に放射線のリスク認知のアンケートのご協力をお願いします。アンケートはQRコードを配布しますので、そこから回答できます。

ご協力いただける、ご興味がある方は、下記のURLにアクセスしていただきますようよろしくお願いいたします。研究の詳細については、追って個別にご連絡します。



本調査に関する問い合わせ先：
弘前大学大学院保健学研究科：
細田正洋：m_hosoda@hirosaki-u.ac.jp
工藤ひろみ：y-hiromi@hirosaki-u.ac.jp